

# 2020年度 JDA-DAT体制に係る会議報告

「2020年度 JDA-DAT体制に係る会議」が2020年9月13日（日）10：00～12：00に開催された。本会からは米谷 佳彦（JDA-DAT大阪 責任者・リーダー）、星庵 史典（JDA-DAT大阪リーダー）が大阪府栄養士会事務局から Web 参加したので報告する。全国の栄養士会の JDA-DAT の代表、日本栄養士会の JDA-DAT 統括が一堂に Web で会した。

議題は、「近年の災害支援活動について」「都道府県栄における災害対策状況について」「都道府県栄との緊急時連絡網の整備について」「JDA-DAT メンバーの育成についてリーダー育成研修」「JDA-DAT 運営委員会の体制構築について」「乳児用液体ミルクを用いたレシピ提案について」等で各栄養士会、日本栄養士会から報告、意見交換が行われた。

## 近年の災害支援活動について

近年の災害支援活動については昨年の台風の被害で大規模な停電に見舞われた千葉県をはじめ、豪雨被害に見舞われた熊本県、長崎県の新型コロナウイルス対応でのコスタ・アトランチカ号への栄養支援について各栄養士会の支援内容、苦勞、工夫等の報告がなされた。

各々の災害で課題も違い、都心部とそれ以外の特殊栄養食品のニーズの差、ハラール対応食の対応など各栄養士会の報告が行われる機会は今までになくとも有意義であった。

新型コロナウイルス感染症についてはお弁当の手配に加え配達等についての課題もあったとの苦勞がうかがわれた。

**令和元年における災害支援への取り組み** 資料 1

主な災害発災名称	令和元年8月 九州北部豪雨災害	台風第15号 ファクサイ (Faxai)	台風第19号 ハギビス(Hagibis)	備 考
発災日	令和元年 8/27日未明	令和元年 9/8日未明	令和元年 10/12日未明	
主な 発災地域	佐賀県	千葉県	宮城・福島・茨城 長野等	
日本栄養士会 災害対策本部設置	未設置	未設置	設置 10/14	
JDA-DAT等 派遣期間	9/21～9/27	9/15～9/23	10/16～	
延派遣者数	14名	14名	24名	
主な活動	・佐賀県より医療事業部を中心とした管理栄養士等派遣	・JDA-DAT派遣（災害支援車両） ・特殊栄養食品ステーション設置（千葉県庁内）	・JDA-DAT派遣（災害支援車両） ・特殊栄養食品ステーション設置（各被災県栄養士会）	

千葉県栄養士会においては、台風第15号及び台風第19号災害とともに継続支援活動中。また、台風第19号災害においては先遣隊を茨城・長野・福島・宮城に派遣し体制整備を図った。

**令和2年における災害支援への取り組み**

主な災害発災名称	新型コロナウイルス感染症対応	令和2年7月豪雨	
発災日	令和2年2月頃	令和2年7月	
主な 発災地域	長崎県クルーズ船「コスタ・アトランチカ」号・北海道老健施設他	熊本県・鹿児島県・福岡県・岐阜県・長野県・山形県他	
日本栄養士会 災害対策本部設置	未設置	設置 7/4	
JDA-DAT等 派遣期間	長崎県栄養士会 4/24～5/2 北海道栄養士会 5/20～5/21	熊本県栄養士会 7/14～7/23	
延派遣者数	7名(実数)	確認中	
主な活動	・DMATと連携し、長崎港停泊の船舶乗務員の特別食事対応(ハラール食・アレルギー食・ベジタリアン等)総合ビタミン剤等提供 ・DMAT相談サポート	・特殊栄養食品ステーション設置(7/13熊本県・7/13岐阜県・7/9鹿児島県・7/30山形県栄養士会)	

## 各都道府県の災害協定について

各都道府県と栄養士会との災害協定については2020年8月31日現在 18府県3政令市が各栄養士会と締結しており、当会においても大阪府、大阪市とそれぞれ2019年5月8日、28日に締結している。

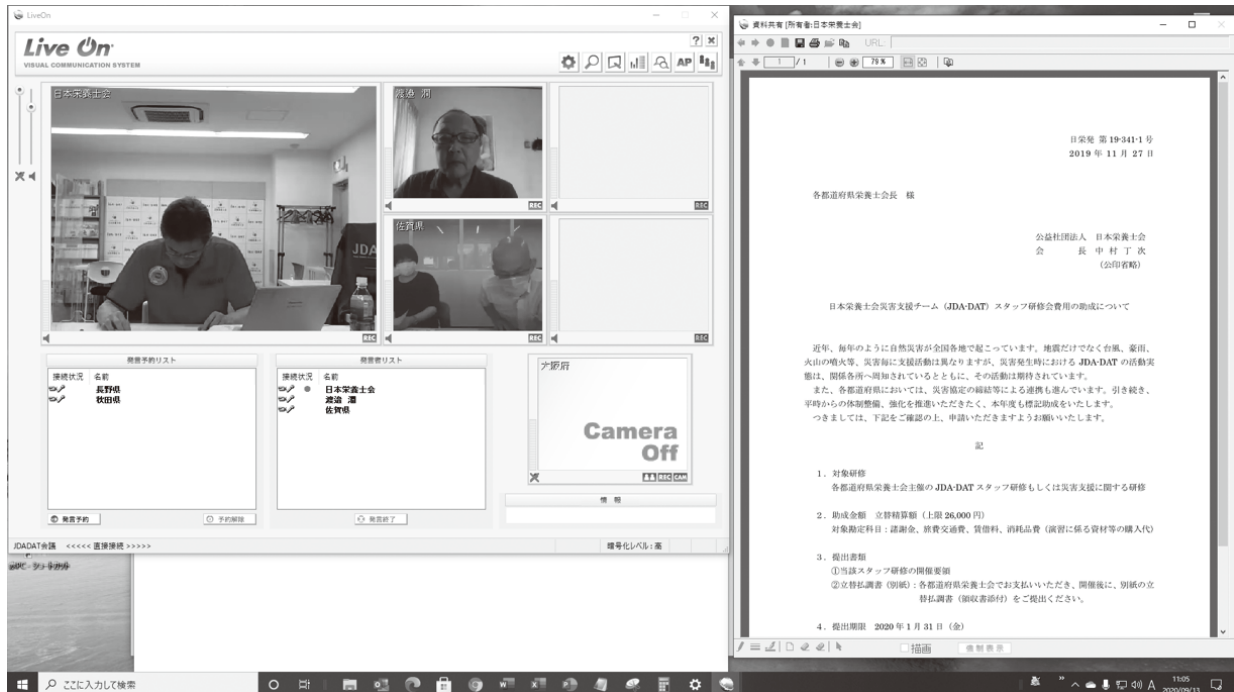


図 1 Web 会議の様子

## メンバー（スタッフ・リーダー）研修について

現在日本全国の JDA-DAT リーダー・スタッフは 3283 人となっており栄養士における災害支援組織は世界の中でこのような活動は日本だけという。

大阪府栄養士会のスタッフ研修については新型コロナウイルス感染症のため今年度の実施を見送りとなったが、各栄養士会でも中止、延期、Web 開催等多様な対応であった。また例年秋に行われているリーダー研修については Web での開催が日本栄養士会から報告があったため、ぜひスタッフ研修を修了されている方は受講していただきたい。日程については決まり次第、日本栄養士会のホームページや栄養大阪等で周知されるのでチェックしていただきたい。

JDA-DAT ではリーダー研修内容・運営やマニュアル作成、エビデンスの蓄積は各栄養士会から選出された JDA-DAT 運営委員からなる組織委員会で作成される。直近では「災害支援チーム活動マニュアル」への新型コロナウイルス感染症対応についての項目追加、災害時のアクションカード作成をマニュアルチームを中心に作成いただいている。

今回はその選出についても協議された。過去の2年間は南海トラフ巨大地震の想定地域の栄養士会から選出がされたが、今回は各地域ブロックごとからの選出が提案され近畿ブロックからは大阪、兵庫、奈良から選出することとなった。これまでもそうであるが自然災害において被災地域が1県とは限らない。近畿ブロックにおいても各栄養士会との地域の連携を確認した。今後研修、災害時での連携を図っていきたい。

(文責 JDA-DAT 大阪リーダー 星庵史典)